

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
1	7月6日(金)豪雨災害について	当日は避難所を開設し、災害対策本部を設置し、320人以上の方が避難した。人命にかかわる被害はなかったものの、被害の報告は町内全地域で200件以上あり。特に丸林地区が大きな被害を受けている。全壊2件、すぐには住めない状態の家屋が2件あるため、町営本桜団地に入居されている。宮浦地区でも基山に上る道が通行できない状況になっている。(登山禁止) 昭和28年に亀の甲池が鳥栖川に決壊していることから、今回の大雨でも決壊の恐れがあったため、1区に避難指示を発令した。これに伴い、県道17号線は通行止めとした。その後専門家に現地確認してもらい、1区の避難指示を解除したのちに県道17号線が開通した。今後池の補強を行うが、農業用水として亀の甲池を利用している方も減少しているので、利用状況や必要性を検証したうえで、抜本的に池の維持管理を見直していく必要がある。	防災・防犯	町長	
2	関屋井堰について	県(東部土木事務所)からの回答は、県での維持管理はしないとの例年通りの回答だった。堰の維持管理を自治体がしている事例はない。関屋のみというわけにはいかないもので、町内の井堰全てとなると高額な負担がかかり町営化は難しいと考える。井堰の維持管理が負担となっているのであれば、整備の簡素化を検討し、財政負担軽減を図ってはどうか。また、亀の甲池と同様、13区にある2つのため池と関屋井堰をどれだけの農家の方が利用しているのかを検証して、抜本的に維持管理の見直しを検討してはどうか。	公共施設	町長	
3	空家対策について	昨年の町長懇談会後、個別に特定の空家の相談を受けた。その空家については、相続人の全員と連絡を取っている。空家問題が解決したわけではないが一歩ずつ解決に向けて進めている。一般的に複数の相続人がいて空家の管理ができない場合は、相続放棄してもらうのが一番早い。しかし、相続放棄にも費用負担がかかる。その費用が出せない人もいるので、対策が難しい場合もある。今年度の町内の空家数は、162件。去年が150件あり、内30件以上に新たな入居があったにも関わらず、空家数が増えている。この状態を深刻に受け止めている。	空家対策	町長	
4	マンションに付属する町有地公園の管理について	昨年相談のあったマンションに付属する公園については、2種類あり。1つ目は、町が設置している公園で、町内に10か所ある。2つ目は、開発に伴って民間が設置し、町に移管を受けた公園で、町内に30か所ほどある。開発に伴って設置された公園は、売買契約の際に管理者を定めてあるのが一般的で、概ね住民管理となっている。ニューライフに設置されている公園は、後者の公園で、住民管理となっており、現在も皆さんに管理していただいている。このような町内の公園全部を町営化すると維持管理費用における財政負担が大きい。町営化するのであれば、税金を上げざるを得ない。落葉等の問題により、維持管理負担が大きいということであれば、要望により大木の撤去費用について町で予算計上することは検討できる。ただし、予算は議会で認めてもらう必要がある。	公共施設	町長	
5	マンションの公園について、先ほど最初の契約にて取りきめているということであったが、契約の中に住民が管理するという文言はない。町とデベロッパーの間で文書を取り交わしているのか。	ニューライフの公園は、開発に伴うマンション面積の3%分の緑地である。マンション建設における開発の協議の中で、管理は開発者又は住民で行う様取り決めしている文書が残っている。	公共施設	副町長 建設課長	
6	デベロッパーに問い合わせたところ、そのような文章は現在保管されていないとのことであったが、住民とデベロッパーとの取り交わしの文書は町の方にあるのか。	基山町には保管していない。そのことは、開発業者(販売者)の重要事項説明で購入者に伝える義務がある。協議書に書かれた公園の管理内容等が正確に住民(マンション購入者)に伝わっているか町の方で確認を取る必要があったと考える。今後、このような確認を取るようにしていく。	公共施設	町長 副町長 建設課長	
7	マンションの公園については、町有地であるため、マンション住民以外の人も利用する可能性がある。管理については、これまで通りマンション住民で行うとしても落葉や地面の掃き掃除等負担が大きい。樹木の伐採について、マンションの一存で決めていいのかわからない。(ご神木の可能性はないかなど)	ご神木のある土地にマンションが建設されるという可能性は極めて低い。その公園は、開発に伴って設置されており、マンション住民で管理していると考えられ、樹木の伐採等の判断は、マンション住民及び5区の方で話し合い、町に相談していただければよい。その相談をもって、撤去費用等を検討していく。	公共施設	町長	
8	大雨における災害後のボランティア要請を消防団員に行ったのか。	土砂撤去等のボランティアについては、地元からの要望に基づき、土日に募集したところ80名(町内55名・町外25名)が集まり、月火に活動していただいた。消防団員の参加の有無は把握していないが、ボランティアとして手伝いに来た者もいたかと思う。	防災・防犯	町長	

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
9	地域防災計画に消防団員の活動についても規定されていると思うが、団員への要請はなかったということか。	消防団員については、6日の時点で亀の甲池の決壊の恐れや河川の氾濫等があったため、土嚢積みや避難のための声かけ等をしてもらった。消防団の役割はあくまで、被害の拡大防止や人命のかかわる現場での活動であり、民家の泥撤去等は消防団の本来の役割の範疇ではないと考える。意欲のある消防団の方は、ぜひボランティアとして活動してほしい。また、要請してほしいと感じた消防団員がいるのであれば、そのような意見があったことを団長等に伝え、今後の災害に向けての検討するようにしていきたい。防災計画についていうと、先進地域では近隣の方が高齢者や障害者のお宅の寝室まで把握していたことで、救助がスムーズに行ったケースもあったとのこと。町の防災計画だけでなく、区の防災計画等も重要になってくると考える。秋に向けてそのような勉強会を考えているので、参加してほしい。	防災・防犯	町長 副町長	
10	大雪時は渋滞や通行止め等が、深刻な問題となる。対応としてどうなっているのか。	前回の大雪の際は、町内業者の除雪車が町外に出払っていたため、対応が遅れたことが問題となっていた。このことを教訓として、今後は天気予報の情報をもとに雪が降る前に重機を町内に戻しておくこと。路面の凍結の可能性が高いところには事前に融雪剤を置いておく等の対応はできる。除雪については、重機の台数が少ないため、優先順位を決めて国道→県道→町道の順に対応していく。それが終われば、生活道路にも入っていくことが可能。個人の家の前等については、職員が対応したこともある。今回の大雨では、学校を休校しなかった。台風時よりも危なかった為、今後は大雪・大雨時も休校や早引きの決断を早めに行いたいと思う。	防災・防犯	町長 副町長	
11	小倉交差点の冠水の原因は分かったのか。	冠水の原因は、落雷による停電で、ポンプアップ機能が停止したためである。原因はわかったのですが、同じことにはならないようにする。そもそも、小倉交差点は通常時も湿っているため、そもそも抜本的な解決策が必要であると考え。	防災・防犯	町長	
12	小倉交差点東側の新設された交差点において、朝夕の大型トラックの信号無視が頻繁に見られる。企業への指導をしてほしい。	すぐに企業への指導を行うとともに警察に取り締まりしてもらうように依頼することとする。	交通安全	副町長 建設課長	
13	関屋井堰は農業用としての機能もあるが、防火用水としての機能もあると考える。防災の観点からも町営化できないか。現在、水引きをボランティアにお願いしている現状である。	防災としての役割とは考えにくい。先ほども言っていたが、農業者及び農地が減少している今、抜本的に井堰及びため池の必要性の有無を再度検討すべきではないか。ため池も年に2回程度しか利用していないとのことであるが、13区からは通学路にあるため池への不安の声が大きい。(子どもの落下等)	公共施設	町長 副町長	
14	今後、数十年すると5区も3分の1程度が空家になるのではと懸念している。新しく建設されている所はいいが、古くからいる者の家は空家になる可能性が高い。また、新しく入った方は組合外となることも多く、組合を合併しないと出事やお宮の維持ができなくなる可能性もある。若い人が帰ってくる政策をお願いしたい。	空家問題は5区だけではない。現在も行っているように定住促進についても力を入れていきたいが、今回の大雨において、ここ数年は災害対策等の安全安心への投資が増えると考え。区としても新しい人が組合に加入しやすいように出事の簡素化等の検討をしてほしい。	高齢者福祉	町長	
15	防災無線が低すぎて聞こえづらい。	昨年11月に消防団と連携して防災無線のテストを実施した。その時は町内に3か所聞こえづらいところがあったとの報告を受け、設置場所を改善している。音は、下から上に聞こえるので、あまり高くすると逆に聞こえにくくなることも考えられる。また、防災無線のテストを実施する予定にしている。ただ、町内全域に内容を明確に届けることは難しいので、防災無線発信から1時間以内であれば050-5309-2682に電話すると無線で流れた内容と同じものを聞くことのできるサービスを実施している。このことを区としても区民に周知してほしい。	防災・防犯	副町長	
16	今回の災害において井堰が倒れていないところもあった。具体的には田中鉄工付近であるが、おかげで氾濫寸前まで水位が上昇していた。町の方で点検してもらえないか。	災害時は点検して回った。油圧式の場合倒れはするものの、戻らない場合があるようだ。確かに倒れていない井堰もあったため、倒してもらうようお願いした。農業委員会に台帳があると思うので、点検を実施する方向で検討したい。	防災・防犯	副町長	